

## 2022 年度の教育活動に対する学校評価

自己評価 2023 年 3 月 15 日

学校法人博学園 須津幼稚園長

後藤正章

学校法人博学園 須津幼稚園 学校関係者評価委員長

高田浩之



- 1 幼稚園の教育目標 『げんきな子 がんばる子』
- 2 本年度の重点目標 「子どもの心に寄り添い、心の育ちを見守る」
- 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

2023 年 3 月 27 日

(※評価点は、A(十分に成果があった)・B(成果があった)・C(少し成果があった)・D(成果がなかった)の数値で示すこと。)

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園としての反省と改善	評価点	意見
保育計画	幼保連携型認定こども園として0歳児から就学前までの乳幼児の成長を見通した計画がなされていたか	A	乳児と幼児の交流が3年目となり、新型コロナウイルス感染症の感染防止策をとりながら、運動会の練習を見学したり、野菜の成長を見せてもらう、収穫した野菜をいただく、プレゼントを渡すなどのちょっとした交流の場が増え充実してきました。	A	昨年度までの交流を踏まえ、交流が増えてきたことを評価します。
指導の在り方	一人ひとりの心に寄り添うかかわりができたか。 集団生活の中でお互いに刺激を受ける環境を作れたか。	B	昨年に引き続き、心に寄り添うこととわがままを受け入れてしまうことが紙一重であるために、反省と改善の日々の中で難しさを感じた。1年であった友達とのかかわりの中での育ちが様々な場面で観られたことはよかった。	B	子ども一人ひとりの心により沿うことは難しいですが、心を見る目とこれからも養って下さい。
情報発信	保護者へ、子どもの育ちを情報発信できたか	B	昨年の反省をもとに、保護者への発信を先生たちは力していた努力していた。しかし、日々の保育の反省準備預かりの園児への対応などに時間を取られ、十分とは言えない。◎青年は、時間を作るような体制を考えたい。	B	保護者への発信はとても大切なことです。今年も元気で頑張ってください。
研修	教師の資質向上の為に園内研修を企画したり、園外の研修会に参加する機会を確保していたか	A	コロナ禍の中、市内の研修会やズームでの外部研修に参加した。 園内研修の充実を図ることができた。	A	研修による自己研鑽をこれからも続けてほしい。
子育て支援	子育て支援の為に未就園児親子への親子教室を2階ホールにて開催した。	B	今年度も新型コロナウイルス感染防止の為、状況により親子教室や園庭解放を中止したり再開したりした。 専門機関との連携を図り、子ども達の育ちにプラスとなった。 来年度は0～1歳児の親子教室「ほっこりルーム」も計画している。	B	これからも保護者が子育ては楽しいと感じることができるよう支援をお願いしたい。